

# がん抑制遺伝子p53を制御する分子PICT1を用いたバイオマーカー研究

## がんの現状

- ・1981年から日本人の**死因の第1位はがん**となっている
- ・一生のうち**2人に1人**が**がん**になり、**約3人に1人**死に至る
- ・がんの**転移、再発**が大きな問題

- ・がんの**メカニズムの理解**
- ・がん**治療の予後指標の重要性**

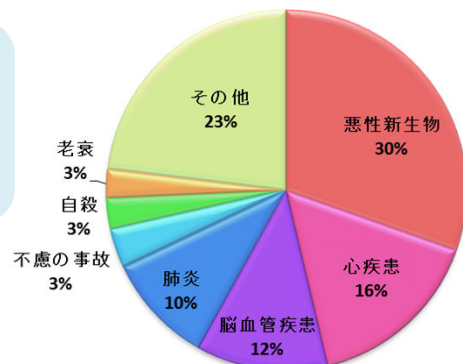


図 主要死因別死亡数の割合  
引用:平成22年 人口動態統計月報年計の概況

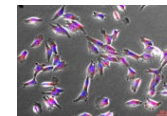
## 基礎実験的アプローチ

### 動物実験系

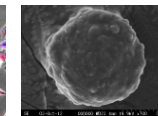


腫瘍形成

### 細胞実験系



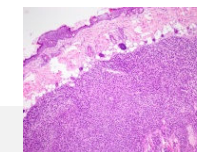
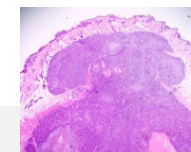
蛍光観察



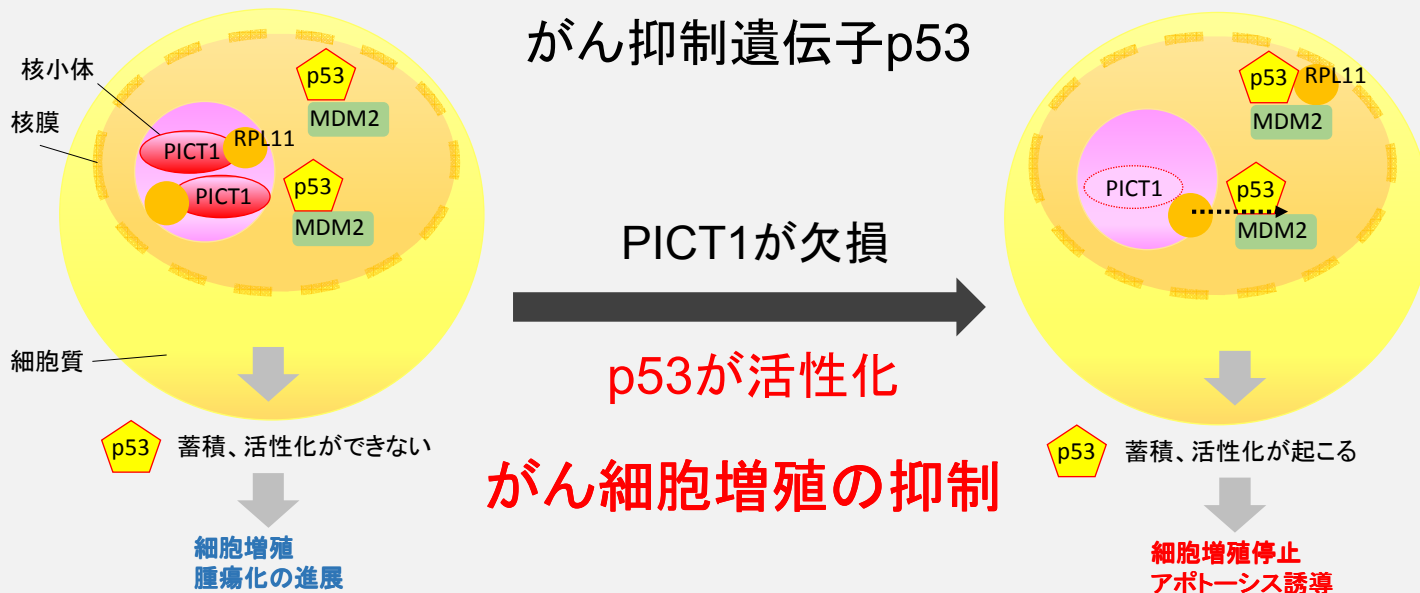
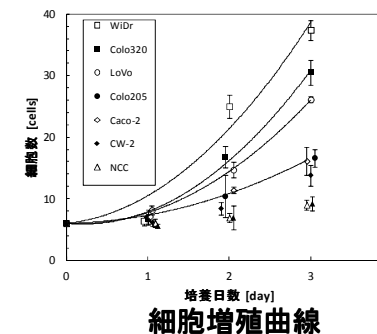
細胞凝集塊作製

## 組織学的アプローチ

### H&E staining (組織染色)



## 工学的アプローチ



PICT1の有無

がん患者の予後に影響

予後マーカーの可能性

PICT1と臨床病理学因子の関連の調査